

2023年度 上智大学 地域懇談会



〈東京会場〉 当日プログラム	1
〈東京以外の会場〉 当日プログラム・日程・会場一覧	2
四谷キャンパスマップ・施設案内	3-4
上智大学 News & Topics 2022 ~ 2023	5-10



地域懇談会 プログラム 〈東京会場〉

東京 A 〈6/4〉 文学部・総合人間科学部・経済学部・総合グローバル学部・国際教養学部

東京 B 〈7/9〉 神学部・法学部・外国語学部・理工学部

各プログラムの会場は、別紙をご確認ください

※総合受付（2号館1階） 9:00

I. 全体集会	10:00-10:40
理事長 挨拶	アガスティン サリ
学長 挨拶	曄道 佳明
後援会会長 挨拶	森本 聡
II. 就職・留学説明会	10:40-11:20
就職・留学に関して現在の状況や、手続き・スケジュールなどよく寄せられるご質問についてご説明いたします ※就職・留学に関する説明会に参加した上で、個別の面談が必要となった方には個人面談の整理券をお渡しします 整理券配布（就職・留学に関する個人面談ご希望の方）：12:30-13:00 2号館1階	
III. 学科別集会	11:30-12:30
学科の概要について、所属の教員からご説明します	
IV. 懇親会	12:30-14:00
<ul style="list-style-type: none"> ・昼食をご用意しております ・ご父母・保証人の皆様や教職員とご歓談ください 	
V. 個人面談	14:00-16:00
<p>■学科教員との個人面談 ※対象学部の日程のみ出席可能です</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前予約をされた方を対象として、各学科の教員との個人面談をお受けします <p>■就職に関する個人面談、留学に関する個人面談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職、留学に関するご質問等について、担当の職員との個人面談をお受けします ・人数が上限に達した場合は、お受けいただけませんが、7月29日（土）開催のオンライン面談もご検討ください（申込締切：7月10日（月）） 	

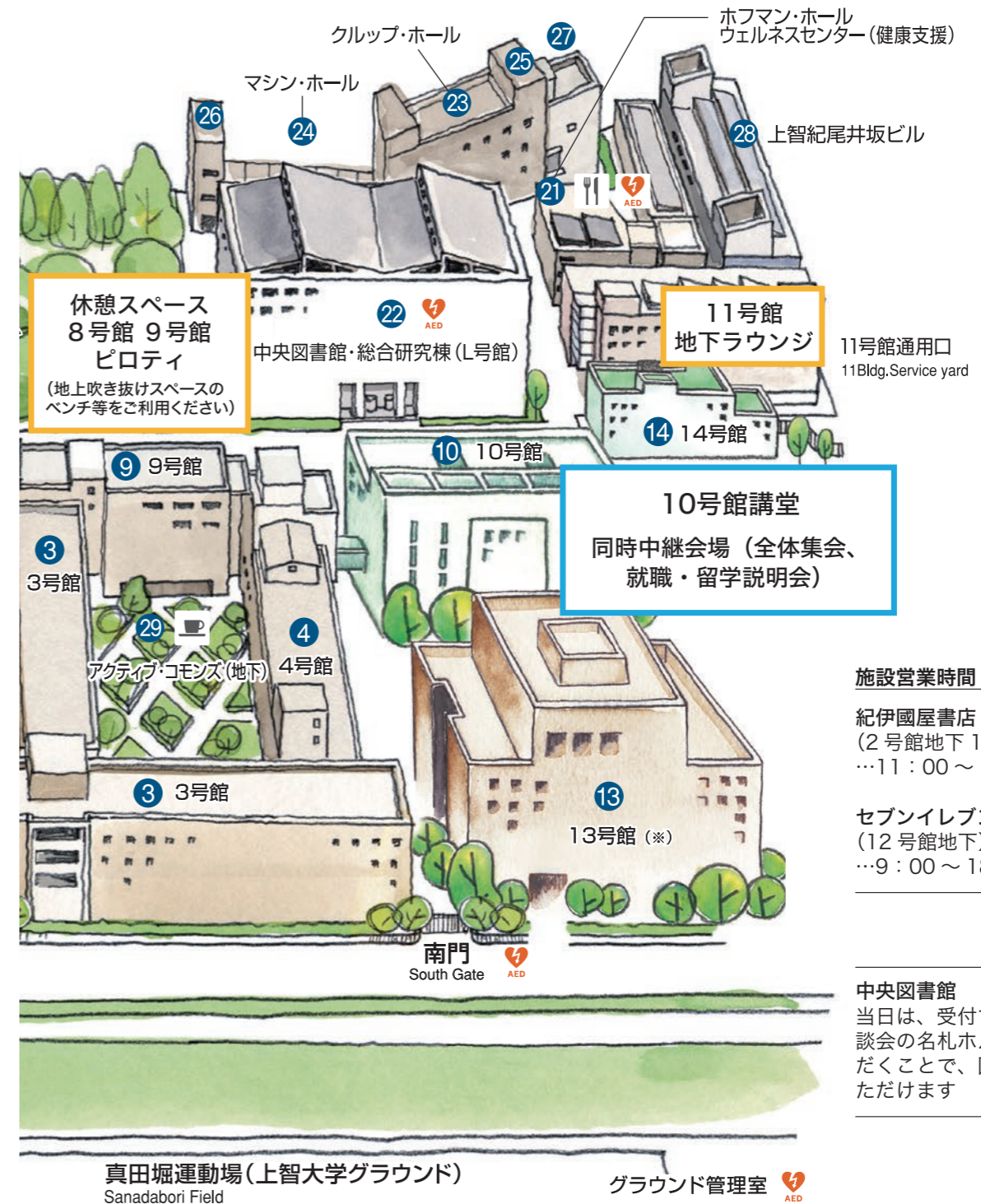
地域懇談会 プログラム 〈東京以外の会場〉

※受付開始 13:00

I. 全体集会	13:30-14:10
本学の教育方針や大学の近況について、ご説明します また、後援会役員が後援会についてご説明します	
II. 懇親会	14:10-15:10
<ul style="list-style-type: none"> ・軽食をご用意しております ・ご父母・保証人の皆様や教職員とご歓談ください 	

日程・会場一覧

開催地	開催日	申込締切日	会場名	大学からの出席予定者・対象学部
東京 A	6月4日(日)	5月12日(金)	上智大学 四谷キャンパス	文学部、総合人間科学部、経済学部、総合グローバル学部、国際教養学部
仙台	6月10日(土)	5月19日(金)	TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口	学生総務担当副学長、国際教養学部長
札幌	6月11日(日)	5月19日(金)	札幌グランドホテル	高大連携担当副学長、外国語学部長
大阪	6月11日(日)	5月19日(金)	ホテル阪神大阪	理事長、学術研究担当副学長、経済学部長、総合グローバル学部長
新潟	6月17日(土)	5月26日(金)	ホテルオークラ新潟	グローバル化推進担当副学長、理工学部長
松本	6月17日(土)	5月26日(金)	ホテルモンターニュ松本	学務担当副学長、経済学部長
広島	6月17日(土)	5月26日(金)	TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前	学長、文学部長
金沢	6月25日(日)	6月2日(金)	ANA クラウンプラザホテル金沢	高大連携担当副学長、神学部長
福岡	6月25日(日)	6月2日(金)	TKP ガーデンシティ PREMIUM 天神スカイホール	理事長、グローバル化推進担当副学長、総合グローバル学部長、理工学部長
名古屋	7月1日(土)	6月9日(金)	名古屋ガーデンパレス	学長、学術研究担当副学長、総合人間科学部長、外国語学部長
静岡	7月2日(日)	6月9日(金)	ホテルアソシア静岡	学長、法学部長
徳島	7月2日(日)	6月9日(金)	ホテルクレメント徳島	学生総務担当副学長、文学部長
東京 B	7月9日(日)	6月16日(金)	上智大学 四谷キャンパス	神学部、法学部、外国語学部、理工学部
オンライン面談	7月29日(土)	7月10日(月)	—	—



施設営業時間

紀伊國屋書店・パティネスポーツ
(2号館地下1階)
…11:00 ~ 15:00

セブンイレブン
(12号館地下)
…9:00 ~ 18:00

中央図書館
当日は、受付でお渡しする地域懇
談会の名札ホルダーをお見せいた
だくことで、図書館内にお入りい
ただけます

さらに新しくなった四谷キャンパス！ 四谷キャンパス外構整備計画

「四谷キャンパス外構整備計画」に基づく外構工事は、東西メインストリートおよび1号館前広場(S-TERRASSE)に続き、メインストリート中央から図書館付近、8号館ピロティと体育館東側入口周り、および9号館アクティブコモンズ屋上庭園の改修工事が完了しました。今後は、2024年3月までにメインストリート中央より北、2024年度にメインストリートの図書館付近より南の外構整備を行う予定です。

A 9号館アクティブコモンズ屋上庭園 2023年3月竣工/5月運用開始

芝生を中心とした見通しの良い広場空間として、早くも学生の憩いの場所となっています！
 什器設置・運用に関しては、サステナビリティ推進本部の学生職員と協働して進めています。

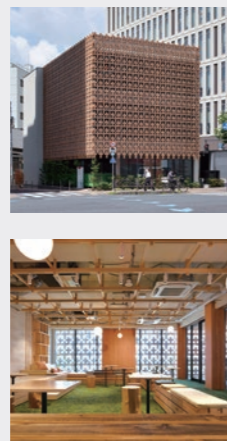


B 15号館



B 15号館 2022年4月竣工

- ・木造3階建て耐火構造。SDGs実現、設計は環境負荷の低減に配慮。
- ・外観は、上智大学の建学の理念に連なる「多様性」「他者との交流」「真理」「伝統」を表現。木材には東京都多摩産材のSギを使用。
- ・2022年秋より、社会人向け講座「プロフェッショナル・スタディーズ」を中心とした授業で使用開始。



C S-TERRASSE (1号館前広場) 2022年9月竣工

- ・名称「S-TERRASSE」は学生からの公募により決定
- ・中央に初代学長ホフマン神父の胸像を移設、その両脇に「ひな壇状のテラス席」を新設。学生やキャンパスを利用するすべての人々が集える場として整備
- ・ベンチ材には再生木材を使用



創立110周年記念ロゴマークが決定

2023年11月に創立110周年を迎える上智大学は、記念ロゴマークを制作するにあたり、学生や教職員からデザインを募集しました。応募総数60件の中から採用されたのは、野村東生さん(文学部哲学科3年)の作品。野村さんは、「真田濠・7号館・6号館という幅広い時代の建造物をモチーフに採用することで、四谷の歴史の一部として上智大学の歴史があり、それはこれからも続いていくというメッセージを込めました。伝統を背負いつつも、現代に生き、未来を志向するという上智の特徴を多層的に表現するデザインとしました」と話しています。



北から見た四谷の風景を図案化。四谷という地域との緊密な結びつきを訴求したといえます。
 ・2つの「1」を表す長方形に施した装飾は、6号館の縦長の窓と、7号館のタイル状の窓がモチーフ
 ・「0」を表す円の下部のみに装飾を施し、四谷の象徴的な史跡である真田濠の形状を表現

大学生目線のサステナブルな朝食レシピを本学学生が開発!

セブン&アイ・ホールディングスと上智大学が共同で朝食レシピの開発を行った「賢者のレシピ-叡智の朝ごはん編」が、2023年2月、上智大学SDGs&サステナビリティウェブサイトおよびセブンプレミアム公式ホームページに公開されました。本企画は、サステナビリティ推進本部が、在学生約30人をプロジェクトメンバーとして募集し、ひとりでも多くの大学生に、健康的な朝食を食べてもらうこと、また、サステナビリティを「自分ごと」として考えてもらうことを目的として行ったものです。



企画は2022年8月に発足。本学在学生を対象に「朝食に関する意識調査」を行った結果、1日を活動的・健康的に過ごすために欠かせない朝食を抜きがちになっているなどの問題が浮かび上がりました。さらに、SDGsの観点から、フードロスを削減することも目的としています。

参加した学生は、6つのチームに分かれ、数々のミーティング・試食会を通してレシピの開発を進めました。セブン&アイ・ホールディングス社の担当者とも議論を重ね、学生ならではの斬新な意見を活かして、最終的に6つのレシピが完成し公開されました。

6つのレシピはこちら ▶ <https://sophia-sdgs.jp/efforts/3615/>



レンジでミートソース
パンキッシュ



さばときんぴらの
ボリューム満点おにぎらず



開発されたレシピは、「賢者のレシピ」として選定されたレシピ以外にもさまざまあり、サステナビリティウェブサイトやインスタグラムにて発信しています。簡単で、美味しく、サステナブルな朝ごはんができるレシピが勢揃い。ぜひお試しください!

裏レシピはこちら ▶



「サステナビリティ推進本部」と学生職員の活動

学校法人上智学院は、社会的責任(Social Responsibility)を果たす取り組みを推進するために、2021年7月にサステナビリティ推進本部を設置。本部設立と同時に「学生職員制度」を取り入れました。現在、14名の学生職員が採用され、キャンパスの環境向上・SDGsの普及に努める「キャンパス改善チーム」、イベント運営・産学連携等を担当する「企画実施チーム」、学内外のサステナビリティ関連団体への取材・上智大学SDGs webサイトの運営等を行う「情報発信チーム」の3チームに分かれて活動しています。

推進本部・各チームの取り組みの内容は、以下SDGsレポートや上智大学SDGs webサイトよりご覧いただけます。【本項目は学生職員が執筆しました】



SDGs レポート 日本語  英語  上智大学 SDGs web サイト <https://sophia-sdgs.jp/> 

中高生向け SDGs アイデアコンテスト - チームワークで考える私たちのアクション



上智学院中高4校の生徒を対象に、SDGs アイデアコンテストを開催しました。サステナビリティ推進本部は企画構想から当日の運営までを担当。参加生徒はコンテストを通じて、SDGs・サステナビリティに関する理解を深めるとともに、生徒同士の交流・アイデアの考案を通じて、リーダーシップや創造力を発揮しました。

詳細はこちら 

『上智大生の SDGs&サステナビリティに関する意識調査』実施

在校生のSDGs&サステナビリティへの関心や意識の把握を目的に、情報発信チームが中心となって意識調査を実施しました。結果を取りまとめた報告書は、以下リンクより公開されています。

詳細はこちら 

上智学院創立記念プログラム『日本語お上手ですね!』と言う前に - 日常に潜む攻撃性“マイクロアグレッション”について考える




本学の創立記念日に際し、真のダイバーシティ&インクルージョン実現に向けて、人々の意識や言動・価値観の改革を志向し、「マイクロアグレッション」(差別したり、傷つけたりする意図はないのに、相手の心に影を落とすような言動)に関するプログラムを実施しました。「マイクロアグレッション」の場面を実演した寸劇、出口真紀子教授によるアカデミックな観点からのレクチャー、参加者参加型のワークショップが行われ、より良い「上智」、より良い社会の実現に向けて、会場全体で学びを深めました。

詳細はこちら 

エコプロ 2022 に出展

一般社団法人サステナブル経営推進機構・日本経済新聞社が主催した、産官学民の多様なステークホルダーが交流する環境総合展、「エコプロ 2022」に出展しました。本学の取り組みを学外に向けて発信するほか、他団体との交流を行いました。

詳細はこちら 



新たな基盤教育の展開 ~ 「自律的な学修者」の育成を目指して


2022年4月より始動した新たな教育体系「基盤教育」は、学部レベルのカリキュラムを大きく見直し、全学共通科目、語学科目、学部学科の専門科目の有機的連携を推進させることで、「自律的な学修者」の育成を目指すものです。新たに設置された基盤教育センターが「基盤教育」の全学的な推進を担っています。

新たな教育体系では「思考と表現」と「データサイエンス」の科目群が設置されました。これらの分野で、学生の主体的な学びを支援するために、以下の学習支援サービスを提供しています。

基盤教育センターの学習支援サービス

ライティング・ラボ レポートや論文をはじめ、大学で取り組むさまざまなライティングの機会において、自律的な書き手になる手助けをします。文章の添削ではなく対話を通して「学生自身の書き手としての能力を磨く」場所です。

データサイエンス・クリニック データサイエンスの学習や利用について質問・相談できる窓口です。統計学の学習やデータ分析の演習などの際に生じた疑問についてデータサイエンスの担当教員が回答・助言することで、学生の学びをサポートします。

〈学生記者による体験談〉 <https://findsophia.jp/sophia-topics/20230106-writinglab/> 

基盤教育については、大学公式ウェブサイトもご覧ください。

<https://www.sophia.ac.jp/jpn/academics/> 

責任投資 (ESG投資) の取り組み

上智学院では、「学問研究及び社会貢献を通じて、『人間の尊厳 (human dignity)』を脅かす課題-貧困、環境、教育、倫理-の解決に貢献する」という基本理念を反映した形で資産運用を実践するために、環境 (E)、社会 (S)、ガバナンス (G) を考慮した ESG 投資に取り組み、地球規模の環境問題・社会課題の解決に貢献し、持続可能な国際社会造りに繋がれることを目指しています。

以下、2022年度に実施した責任投資の取り組みの一部をご紹介します。

①国連責任投資原則 (PRI) が新たに設立した協働エンゲージメント「Advance」に参画

「Advance」は ESG 課題のうち、人権問題を中心とした「社会 (Social)」の課題をテーマに、協働エンゲージメントを通じて企業の取り組みを促進することを目的として設立された機関投資家のイニシアティブです。上智学院の責任投資では、建学の理念に整合的で重要なテーマとして「人権尊重」を掲げており、今後も採用している運用機関に対して投資先企業との人権リスクの改善に向けた対話を促し、持続可能な社会の形成に貢献してまいります。



②「JICA ピースビルディングボンド (平和構築債)」への投資

独立行政法人国際協力機構「JICA」が発行する「ピースビルディングボンド：平和構築債 (ソーシャルボンド)」への投資を実施いたしました。ロシアによるウクライナ侵攻をはじめ世界の紛争は増加し、解決すべき課題が大きくなっています。本債券により調達された資金は、JICA が実施する有償資金協力事業のうち、紛争・内戦により影響を受けた (受けている) 国・地域等に対する人道支援、紛争後の復興・復旧、紛争の発生・再発防止・平和の促進等を支援する新規および実施中の事業に充当されます。



③国内再生可能エネルギーファンドへの出資

日本のカーボンニュートラルに貢献する国内再生可能エネルギーファンドへ出資しました。このファンドは、再エネ電力を「つくる」発電事業に投資し、その上で株主が自社や関係先で再エネ電力を「つかう」まで一気通貫で実施することで、再エネ拡大の課題解決を目指しています。



気軽に相談できる「なんでも相談窓口」を開設

2022年4月に新設したウェルネスセンターでは、「健康支援」「カウンセリングサービス」「学生相談」「障がい学生支援」の4つの部門を軸に、医師やカウンセラー、相談員などの専門職と、学内各部署の経験がある事務職員が連携して学生を支援する体制を築いています。2022年秋学期からは、従来の心やからだの健康相談に加え、学生がどこに相談してよいか分からない場合の一次対応窓口として「なんでも相談窓口」を開設しました。

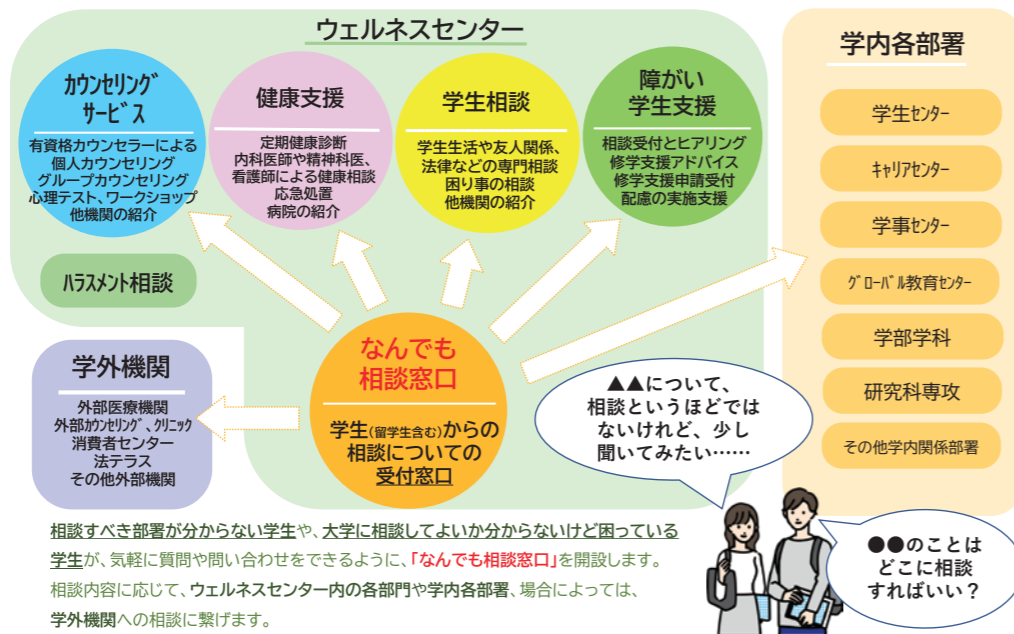
今後も学生が心身とも健康に充実した学生生活が送れるように、気軽に相談しやすい環境を整え、安心安全なキャンパスづくりを目指していきます。

利用に関してはこちらをご確認ください。

https://piloti.sophia.ac.jp/jpn/soudan/soudan_madoguchi/studentinformationservice/



ウェルネスセンターの学生相談体制と学内外機関との関わり



国際パラリンピック委員会 (IPC) 会長が来学

2022年8月、東京2020パラリンピック開催から1年を機に来日した国際パラリンピック委員会 (IPC) アンドリュー・パーソンズ会長とマイク・ピーターズ CEO が本学を訪問し、ソフィア オリンピック・パラリンピック 学生プロジェクト Go Beyondと交流しました。

学生からは、平昌2018パラリンピックの現地視察への参加をきっかけに当プロジェクトを立ち上げたことや、開会式でのパーソンズ会長のスピーチが後押ししたこと、大切にしている3つの理念「Go Beyond Limits 自分の限界に挑戦する」「Go Beyond Borders 自分と人との見えない境界を超える」「Go Beyond 2020 東京大会のその先へ」を紹介。また、プロジェクトの具体的な活動内容について説明しました。

学生の発表を受けて、パーソンズ会長からは「皆さんが他者のために行動を起こしたことを称賛したい。それが都や国や組織委員会などに促されたのではなく自らがはじめたことにも感銘を受けた。学生の活動を支援した上智大学も素晴らしい」とのコメントを頂き、学生たちに「違いは強み。情熱を持ち続けてほしい」と力強いエールが送られました。



ウクライナからの留学生受け入れとサポート

上智大学は、一般財団法人パスウェイズ・ジャパン (PJ)、日本国際基督教大学財団 (JICUF) と共同で、2022年7月より、ウクライナからの避難学生の受け入れを行い、現在10名の学生がノンディグリー生として学んでいます。受け入れにあたっては、渡日支援や生活支援・住居支援・授業料免除といった経済面での支援の他、日本での生活のサポートを提供しています。

10名は2023年度春学期まで非正規生として受け入れる他、継続して在学を希望する場合は、編入学・入学試験を実施し、正規生として学びを継続できるよう、学生に寄り添って支援していきます。受け入れを通じて、教育精神「他者のために、他者とともに」を具現化することで、本学は高等教育機関としての社会における役割を果たしていきたいと考えています。

上智大学 入学時学生意識調査・在学時学生実態調査2022 学生へのアンケートより

上智大学では、新入生を対象とする「入学時学生意識調査」、2年生以上の在学時を対象とする「在学時学生実態調査」、卒業時点での成長実感を測定する「卒業時成長実感調査」、卒業生の動向を探る「卒業後動向実態調査」を2022年より実施しています。

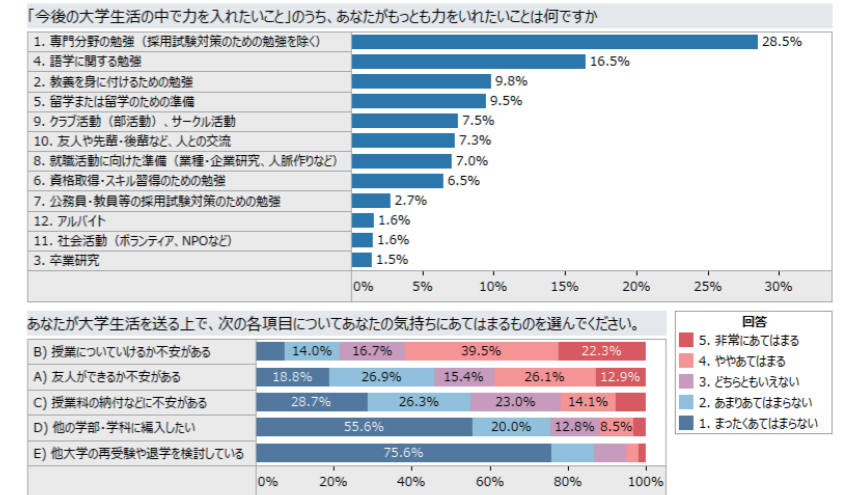
2022年4月に実施した「入学時学生意識調査」では、「今後の大学生活のなかでどのようなことに力を入れていきたいですか」という設問に対して、「専門分野の勉強」との回答が最多であり、その他、「語学に関する勉強」「教養を身につけるための勉強」「人との交流」などのさまざまなことに力を入れていきたいという結果となりました。学生生活に対する不安についての設問では、「授業についていけない不安」「友人ができるか不安」という回答が多くありました。

2022年11月に実施した「在学時学生実態調査」では、8割程度の学生が「上智大学の校風が自分に合っている」「学内に相談できる友人がいる」と回答しました。「校風が自分に合っており」「大学での成長を実感している」学生は、後輩などへの上智大学の推奨度が高いことが示されました。

※各設問の回答・詳細は以下からご覧ください

2022年度 上智大学入学時学生意識調査 <https://piloti.sophia.ac.jp/jpn/facts/survey/freshman2022/>

2022年度 在学時学生実態調査 <https://piloti.sophia.ac.jp/jpn/facts/survey/2022enrolled/>



公式ウェブサイトがリニューアル! ~コンセプトは「学びのインスパイア」

2022年12月、上智大学の公式ウェブサイトが5年ぶりにリニューアルされました。コンセプトは「学びのインスパイア」。自分の可能性や学びたいことへの気づきを与えつつ、多様な他者に刺激を受けて未知なる世界に飛び出せる学びのイメージを描けるサイトを目指しており、Self-Discovery、Diversity、Commitmentという3つのキーワードを編集軸に、さまざまなコンテンツを展開します。また、「公式サイト」「入試情報サイト」「ウェブピロティ」の3つのサイトに分けて、来訪者の目的ごとに情報をわかりやすく配置・発信する形式にしています。

「公式サイト」は、主に学外者向けに、大学の概要、教育・研究などの情報発信のみにとどまらず、ニュースや特集記事をタイムリーに公開し、上智大学での学びの内容や成長の過程をイメージできる内容となっています。「ウェブピロティ」は、主に本学学生・教職員・保証人などを対象とし、カテゴリー別にさまざまな最新・詳細情報をわかりやすく発信します。

上智大学公式ウェブサイト <https://www.sophia.ac.jp>

上智大学ウェブピロティ <https://piloti.sophia.ac.jp/jpn/>

【公式サイトより】

Window to the World

世界各国に留学している学生による体験談。言語、文化、生活習慣の違いを乗り越えた先に見えたものとは。(月1回更新)



【YouTube で動画を公開中】

Learning at Sophia

教員と学生が、所属学部の魅力や学びについて語る動画シリーズ。

9学部の再生リストはこちら ▶



The Knot—知の結節点

本学各分野の教員が、自身の研究と興味について語ります。(毎週更新)



Sophia in Focus

上智大学の教員が時事問題について解説する動画シリーズ。

再生リストはこちら ▶



アンケートご協力をお願い

本日はご参加いただき、ありがとうございます。

今後の地域懇談会の改善等に役立てるため、以下のリンク先よりアンケートへのご回答をお願いいたします。ご参加のプログラムに関わらず、皆様からのご回答をお待ちしております。

〈アンケートご回答先〉 <https://forms.office.com/r/PmriCBxFJs>



2023年、上智大学は創立110周年です



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY